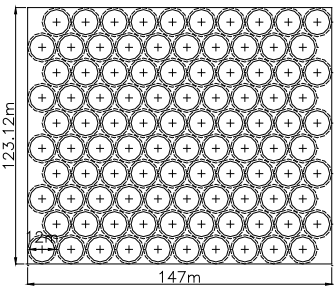
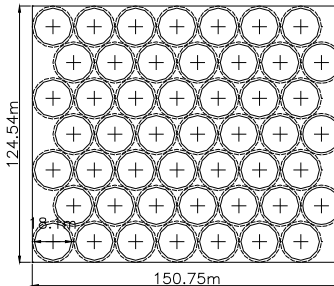
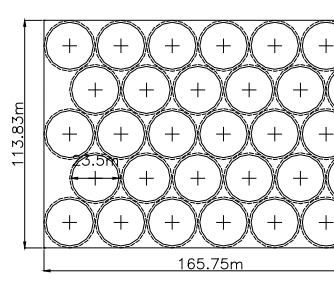
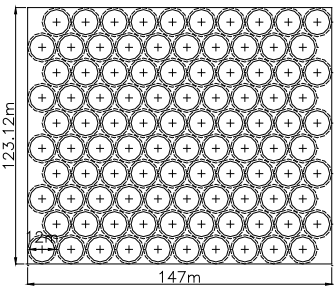
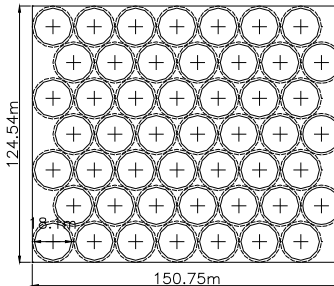
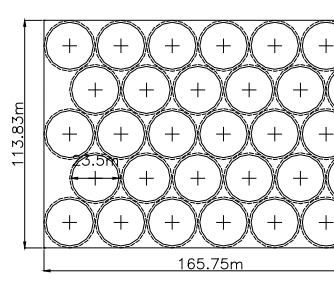
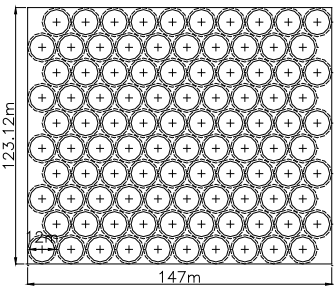
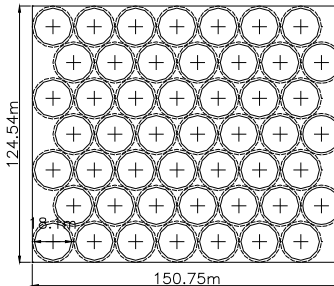
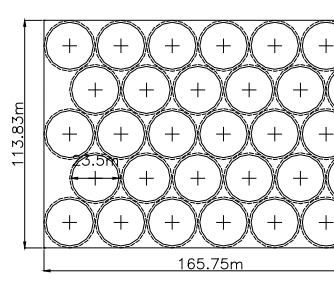


[様式 2]

提案書																											
技術分野	①汚染水貯蔵（タンク等）																										
提案件名	汚染水貯留タンクの大容量化																										
提案者	清水建設株式会社																										
<p>1. 技術等の概要（特徴、仕様、性能、保有者など）</p> <p>現在、福島第一原子力発電所構内に設置されている汚染水貯蔵タンクは、貯水量 1,000m³の溶接組立型の鋼製円形縦型タンクが主流となっているが、本案は、現地での溶接組立のタンクの大容量化（貯水量 3,000m³および、5,000m³）を提案するものである。</p> <p>施工方法としては、工場で製作したパーツを現地に陸送搬入し、現場溶接により組み立てる。</p> <p>大容量化により、既存の 1,000m³タンクに比べて貯水効率の向上が図れる。生産量としては、各タンクとも 15,000m³/月程度が可能である。</p> <p style="text-align: center;">タンクの貯水効率の比較（1,000m³タンク×100 基に対して）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>タンク</th> <th>1,000m³タンク</th> <th>3,000m³タンク</th> <th>5,000m³タンク</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>寸法</td> <td>内径：12.00m 高さ：10.80m 液深：9.70m</td> <td>内径：18.10m 高さ：13.26m 液深：11.80m</td> <td>内径：23.50m 高さ：13.48m 液深：11.65m</td> </tr> <tr> <td>配置例</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基数</td> <td>100 基</td> <td>49 基</td> <td>49 基</td> </tr> <tr> <td>総貯留量</td> <td>100,000m³</td> <td>147,000m³</td> <td>150,000m³</td> </tr> <tr> <td>貯水効率</td> <td>5.53m³/m²</td> <td>7.83m³/m²</td> <td>7.95m³/m²</td> </tr> </tbody> </table>				タンク	1,000m ³ タンク	3,000m ³ タンク	5,000m ³ タンク	寸法	内径：12.00m 高さ：10.80m 液深：9.70m	内径：18.10m 高さ：13.26m 液深：11.80m	内径：23.50m 高さ：13.48m 液深：11.65m	配置例				基数	100 基	49 基	49 基	総貯留量	100,000m ³	147,000m ³	150,000m ³	貯水効率	5.53m ³ /m ²	7.83m ³ /m ²	7.95m ³ /m ²
タンク	1,000m ³ タンク	3,000m ³ タンク	5,000m ³ タンク																								
寸法	内径：12.00m 高さ：10.80m 液深：9.70m	内径：18.10m 高さ：13.26m 液深：11.80m	内径：23.50m 高さ：13.48m 液深：11.65m																								
配置例																											
基数	100 基	49 基	49 基																								
総貯留量	100,000m ³	147,000m ³	150,000m ³																								
貯水効率	5.53m ³ /m ²	7.83m ³ /m ²	7.95m ³ /m ²																								
<p>2. 備考</p> <ul style="list-style-type: none"> 開発・実用化の状況（国内外の現場や他産業での実績例、実用化見込み時期を含む） 当社は、90 基程度の現地溶接による 1,000m³タンクの施工実績を有する。大型タンクについても施工方法は同じであるため施工可能である。 開発・実用化に向けた課題・留意点 その他（特許等を保有している場合の参照情報等） 																											